〔英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕 ⑤

at [アット]

前 ~に、~時に【時の一点を表す】 ~で、~に【比較的せまい場所を表す】 ☆ 上記以外にもさまざまな用法がある。

☆ 時刻・時の一点を表す語の前に使う。 at six (o'clock) 『6時に』 at twelve thirty 『12時30分に』 at noon 『正午に』/ at night 『夜に』 at that time = then 『そのとき』 at once 『すぐに』(= soon) at first 『はじめは』 ⇔ at last 『ついに、とうとう』

☆ in, on, at について → かんたん英文法【時を表す前置詞】 look at ~ 『~を見る』/ at the bus stop 『(その)バス停で』 at the second corner [traffic light] 『2番目の角[交通信号]で』 be at home 『家にいる』/ be at school 『学校(で勉強中)で』 be surprised at ~ 『~に驚く』/ not ~ at all 『まったく~ない』

I got up at six (o'clock) this morning.

『私は今朝6時に起きました。』

Look at this picture. 『この絵を見て。』

Change trains at Shibuya. 『渋谷で電車を乗り換えなさい。』 ※ 乗り換えなどの通過点を表すときは at を使う。

Turn left at the second corner.

『2番目の角を左に曲がりなさい。』

I was surprised at the news.

『私はその知らせに驚きました。』

$\stackrel{122}{\bowtie}$ like [517]



~が好き、~を好む ~のような、~のように

活用 : liked [ライクト] - liked - liking

※ 進行形ではふつう使わない。

3単現形: likes [ライクス]

like to ~ 【不定詞】 = like ~ing 【動名詞】 『~するのが好き。』 would like to ~ 『~したい』

※ want to ~ よりも ていねいな表現

I like apples [dogs]. 『私はりんご[犬]が好きです。』

※『りんご』、『犬』などのように、種類全体の集合体を指すときは 複数形にする。(ある特定の種類を指すときは the ~ などとなる)

He likes Meg very much. = He loves Meg. 『彼はメグが大好きです。』

I like to swim. = I like swimming. 『私は泳ぐのが好きです。』

Which do you like better, summer or winter?

『あなたは夏と冬ではどちらが好きですか?』

→ I like summer better (than winter). 『私は(冬より)夏が好きです。』

I would like to talk with you. 『私はあなたと話したい。』

→【単語帳 No. 612 ··· would】

How do you like Japan? 『日本はいかがですか?』

I want to be [become] a teacher like you.

『私はあなたのような先生になりたい。』

It looks like rain. 『雨になりそうです[が降りそうです]。』 Emi looks like her mother. 『エミは彼女の母に似ている。』 That sounds like fun. 『それは楽しそうです』

※ look, sound の後ろに 形容詞 を使うときには、前置詞の like は 不要になり、look 形容詞 / sound 形容詞 の形になる。

look like ~ ※ ~ には 名詞 を使う。 『~のように見える。~に似ている』 sound like ~ 『~のように聞こえる』

※ look like ~ は目で見たものや見たことに ついて、sound like ~ は耳で聞いたこと に対しての感想や考えをあらわす。

123school [スクール]

|名||学校、校舎 授業 (= class)

go to **school** 『学校へ行く』 a junior high school

『中学校』

after school 『放課後』

I go to school by bike. 『私は自転車で学校に行きます。』

※ 生徒が、(本来の目的である)授業を受けるために『学校へ行く』ときには、 a, the などの、冠詞をつけない。

ただし、建物としての学校をあらわすとき、勉強以外の目的で学校へ行く ときには、冠詞をつける。

Ken is a junior high school student. 『ケンは(1人の)中学生です。』 We play baseball after school. 『私たちは放課後野球をします。』 Where is your school? 『あなたの学校はどこにありますか?』